

岩木川ダム 統管だより

076号
2023年
(令和5年)
8月31日

2023森と湖に親しむ旬間



津軽ダムサマーフェスタ





2023 森と湖に親しむ旬間 津軽ダムサマーフェスタ



パドルの使い方を練習するよ



カヌー巡視体験



ふわふわ遊具



ふわふわして楽しいよ



カブトムシ譲渡



たくさんいるー！



クイズラリー

あ！わかった！

令和5年7月22日（土）、23日（日）の2日間、【森と湖に親しむ旬間】イベントとして『津軽ダムサマーフェスタ』を開催いたしました。これは、同時期に西目屋村にある道の駅「津軽白神」をメイン会場として行われた『にしめやランド2023』の併催イベントになっています。

当イベントは津軽ダムパークを会場にし、ダム見学会、ダム効果模型実験、カヌー巡視体験、紙ヒコーキ飛ばし、クイズラリー、ふわふわ遊具、カブトムシ譲渡を行いました。

紙ヒコーキ飛ばしは、水で分解される特殊な紙を使用し、津軽白神湖に向かって紙ヒコーキを飛ばすという、滅多にできない経験を楽しんでいただきました。

また、ダム見学会は各回ともに盛況で、5歳から80代まで2日間で117名の方にご参加いただきました。

ダム効果模型実験は、普段はダム見学のオプションとして行っているものを、単独で実施しました。ダムがない模型とダムがある模型とで水の流れ方の差を目で見てダムの効果を実感していただきました。

この2日間で約1200人が来場され、訪れた方からは「見学会でダムの知らないことを知ることができ、勉強になりました。」「カヌーが思ったより100倍楽しかった。」「毎年楽しい企画でやってほしい。必ず来ます。」などの感想をいただきました。

ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

令和5年7月30日（日）には浅瀬石川ダムの虹の湖公園ふれあいの広場において『2023 森と湖に親しむ旬間 浅瀬石川ダム ダム湖ふれあいデー』の開催を予定していました。

しかし、30日午前5時に青森県において熱中症警戒アラートが出されたことにより、ご来場いただくお客様と、スタッフの安全を最優先と考え、やむなくイベントを中止する判断といたしました。

楽しみにしていただいた皆様には大変申し訳ありませんでした。



↑ポスター

ダム見学



ダムの中は涼しいなあ♪



紙ヒコーキ飛ばし



飛んでいけー！！

ダム効果模型実験



↑にしめやランド2023 オープニングセレモニー



↑会場の様子

「ダム管理をわかりやすく伝えるための勉強会」を実施しました

令和5年8月9日（水）に岩木川ダム統管理事務所において報道関係機関等を対象に「ダム管理をわかりやすく伝えるための勉強会」を開催しました。

当事務所へお越しいただいた報道関係2社と、WEB会議方式にて3社、黒石市、五所川原市、鶴田町、田舎館村の関係者が参加しました。

約1時間にわたる勉強会では、「浅瀬石川ダム」と「津軽ダム」のダム管理について、特別防災操作や緊急放流（異常洪水時防災操作）等の専門用語や放流通知文の内容について説明を行いました。

説明会の後に津軽ダム現地見学を行い堤体の中やダムの見所を紹介し、より深く津軽ダムについて知っていただきました。

参加された各社からは、深夜に緊急放流となる可能性がある時には何時頃迄に連絡が来るのか、住民への周知の方法について等の質問がありました。



優良業務・優良工事の4団体を表彰

岩木川ダム統管理事務所は令和5年7月26日（水）に、令和4年度完了、完成した業務・工事の中で、成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があったもの、困難な条件を克服したもの等を選定し、優良業務施行会社、優良工事施工会社として、事務所長表彰を行いました。

受賞者は以下のとおりです。（敬称略）



【優良業務】

(株) ダイワ技術サービス 〈浅瀬石川ダム堆砂測量〉
主任技術者 佐藤智行

(株) キタコン
〈岩木川ダム統管理事務所流量観測及び採水等作業〉
主任技術者 藤田欣裕

(株) 建設環境研究所 東北支社
〈津軽ダム水辺現地調査（魚類及び陸上昆虫類調査）業務〉
管理技術者 沼沢信一

【優良工事】

(株) 南建設 〈津軽ダム維持工事〉
現場代理人 三上康仲
監理技術者 澤田康博

富士建設 (株) 〈浅瀬石川ダム構造物補修工事〉
現場代理人及び監理技術者補佐 尾崎克典
特例監理技術者 杉山孝志

事故防止対策委員会総会を開催

令和5年7月26日（水）に西目屋村中央公民館において、岩木川ダム統管理事務所管内での工事・業務に従事する技術者ら30名が集まり事故防止対策委員会総会が行われました。

本総会は、工事等の施行に伴う事故の未然防止と従事者の安全衛生環境の向上を図り、工事などの円滑な進捗に資することを目的として毎年開催されています。

主催者挨拶に続いて、弘前労働監督署 山脇 雅史署長から、労働災害の発生状況や令和4年度の建設現場指導状況についての講話が行われ、参加者は真剣に耳を傾けていました。





夏のライトアップ



浅瀬石川ダム



津軽ダム

令和5年8月10日（木）から20日（日）の11日間、浅瀬石川ダムと津軽ダムにおいて“夏のライトアップ”を実施しました。浅瀬石川ダムはレインボーカラーのライトアップ、津軽ダムは夏をイメージした、青、白、黄色をテーマカラーとしたライトアップを行いました。また、ライトアップと共に両ダムのイメージキャラクターのあっちゃんとペッカー君が夏を満喫する動画を各ダム壁面へ投影しました。

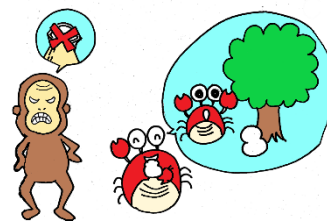
夏の夜の過ごしやすい気温の中、ご家族連れでライトアップを楽しまれる姿が見られました。

今月の昔っこ（昔話）

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話 津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第18作目となる8月のお話は『餅争い』です。

☆猿は蟹と一緒に作った餅を独り占めしようとして失敗。そして、蟹の甲羅を剥がすと脅した。そこへ蟹のために「手伝い隊」が登場。でも、どうして最初に餅を分け合わないの？



編集後記



昨年8月に亡くなられた神戸大学名誉教授・精神科医の中井久夫氏が知人を思んで平成21年に発表した文中に次のようなものがあります。日本文の構成原理は中国の詩法がもとの起承転結であり、日本の論文が米国の雑誌で低く評価されるのはそのためである。米国の論文は、起承承承・・・結となり、転はない。これは日本では一本調子で単純とみなされるため、多角的に物事を捉え今後の問題にも触れ、保留すべきは保留する。ところが米国ではこれが弱さにつながり、高く評価されない。しかし、日本人の英文・英語学者でこれを知っている人は少なかったとの事です。所変われば品変わるという事は生活のうえでも良くある事で、私も失敗した覚えがあります。低評価だと多くの人に伝わらず残念ですが、自信がある時や勢いのある時ほど気づきにくいし、受入れ難かったりします。（工藤）

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2
TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



〈ホームページ〉〈X(旧Twitter)〉

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス
<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito